

～地域での支え合いの仕組みづくり
(生活支援体制整備事業) がはじまっています～

生活支援
コーディネーター
地域通信 第11号

令和8年3月発行

私たちが生活支援コーディネーターです!



社協・川辺



包括・岸田



包括・平山

地域にある資源を活かして、地域の支え合いを推進する役割を担うのが生活支援コーディネーターです。山元町をより良くするための調整役として地域の様々な活動と活動、人と人を“つなぐ”支援をしています。身近な地域での支え合いを推進し「支え上手」「支えられ上手」の地域づくりを進めていきます!

令和7年度

山元町地域ふれあい支え合い活動報告会

R8.3.9坂元地域交流センター「ふるさとおもだか館」を会場に開催されました。



カプアオハナフラサークルによるフラダンス



カフェ地球村による
コーヒーとお菓子販売



明治安田生命による
健康チェックコーナー



生活支援コーディネーターのパネル展示

講師には、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長池田昌弘氏を迎え「あらためて、支え合って暮らすためには」普段の生活の中でのつながりが大切であると講演をいただきました。また日頃から自然に行われている見守り活動の重要性について、振り返る良い機会となりました。その後の事例発表では、山元町内で行われている地域活動「さんさんらじおたいそうの会」「親睦会」「やつて茶話会」の活動内容を聞くことで、普段の暮らしの中での“つながり・気かけ・支え合う”ことが最大のセーフティネットになっているということを実感できたのではないのでしょうか。発表していただいた皆さまありがとうございました!!

生活支援コーディネーターのパネル発表、健康チェックコーナー、お菓子販売も大好評でした。

「さんさんらじおたいそうの会」～浅生原地区～

「さんさんらじおたいそうの会」は、生活支援体制整備事業の一環として令和3年10月から始まり、5年目の団体です。

初回は、太陽ニュータウン内にある「コスモス公園」でラジオ体操行っていました。活動していく中で、天候が悪い日には活動できないことが悩みでした。そんな中、コーディネーターが太陽ニュータウン内にある企業へ働きかけ、企業のご厚意で施設内を利用することができるようになりました。現在では、天候が悪くても、室内で活動できるようになり、参加者の皆さんも大変喜んでます。活動報告会では、会が発足して、5年経過し、楽しかったこと、苦労している点、会を通して生まれた繋がりなど、これからの目標など報告していただきました。

開催場所：太陽ニュータウン内にある企業の事務所
開催日時：毎週火曜日 午前10時～11時



「親睦会」～中浜地区～

開催場所：中浜区集会所
開催日時：不定期で開催

令和6年度の活動報告会に参加したのがきっかけで、自分の住む地域でも活動したいと熱い思いをもって始まった「親睦会」です。みんなで集まってのお話や、ラジオ体操で体力低下を予防し、その後はお茶飲みをしています。自分の家で作った漬物や芋の煮ころがしの差し入れもあり、楽しいひと時となっています。その後、集会所近くの畑で野菜づくりが始まり、切り干し大根づくり、そして出来上がった切り干し大根を小分けにし、各家庭にお裾分け、地域の輪が広がっていると報告していただきました。



「やつで茶話会」～八手庭地区～

開催場所：八手庭農村集落多目的センター
開催日時：毎月第2水曜日 午前10時～11時

自分の地区でも「通いの場」があるといいね!との話が上がり、社協・包括・住民の皆さんが協力し立ち上がった団体です。毎回、活動内容はさまざま、ロコモ体操、スカットボール、茶和会など行っています。茶和会を通して、社会参加、安否確認、フレイル予防、世代間交流など集いの場になっています。いつまでも元気で、住み慣れた地域で、お互い誘い合いながら参加し、見守りあって、顔の見える関係性を築いていますと報告していただきました。

